

永遠の真理

ETERNAL TRUTH



2022 年 6 月

「神のみかたちを回復する」「イエスは再び来られる！(II)」
「歴史は繰り返す」
「ブロッコリと豆腐のキッシュ」

永遠の真理

いま永遠の真理の土台の上に堅く立ちなさい。(3T p.45)

目次

今月の聖書勉強

「イエスは再び来られる! (II)」

4

聖書の教え

朝のマナ

神のみかたちを回復する

8

Restoring the Image of God

現代の真理

「黙示録 18 章の御使と
1888 年のメッセージ (V)」

40

Good Way Series- 正道 -

力を得るための食事

「ブロッコリと豆腐のキッシュ」

46

レシピ

お話コーナー

「太陽の最初の光線 (I)」

48

【正丸教会】

〒368-0071 埼玉県秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1
電話：0494-22-0465

【沖縄集会所】

〒905-2261 沖縄県名護市天仁屋 600-21
電話：0980-55-8136

発行日 2022 年 5 月 5 日

編集&発行 SDA 改革運動日本ミッション

〒368-0071 秩父郡横瀬町芦ヶ久保 1607-1

Illustrations: iStock on Front page; Sermon View on page
48

アクセス www.4angels.jp

メール sdarm.shomaru@gmail.com

Printed in Japan

忠誠が成長する

わたしたちは、安息日遵守において、自分の信仰を聖書から得てきたであろうか…と、個人的に訊ねる必要がある。神の国の特徴及び、しるしとされ、示された神の永遠の契約に自分自身を結びつけるすべての魂は、すべての輪がみ約束である黄金の服従という鎖に、彼自身を結びつける。彼は、自分が、神の言葉を人間の言葉以上のもの、神の愛を人の愛にまさるものとみなしているということを示す。罪を悔い改め、神の印を受け入れ、神への忠誠に立ちかえる人々は、自分自身が神のみこころを行い、神の戒めに従おうとしている心のしもべであることを示している。安息日の遵守は神に対する忠誠のしるしなのである。

黙示録 14 章において、ヨハネはもう一つの光景を眺めている。彼は、非常時に神の王国の律法に対する忠実と忠誠が成長する人々を見る。神の律法に浴びせられた侮辱は、彼らにその律法に対する彼らの愛をいつそう明白に表させるだけである。…

神の律法の浴びせられる侮辱のゆえに、だれも誘惑に負けて神の律法に対する熱烈な愛を弱めてはならない。なぜなら、われわれが心と魂と声をことごとく注いで祈らなければならないのは、まさにその時だからである。「彼らは、あなたのおきてを破りました。今は主の働かれる時です」。それゆえ、全世界的に侮辱されるからとて、わたしの忠誠によって神が最も栄光を受けられ、最もあがめられるはずの時に、わたしは反逆者にかわるつもりはない。

わたしたちは、あらゆる能力と力を主のために用いるべき時に、また確固とした証、気高い、精神を高める証が彼らの唇から出るべき時に、彼らの献身をゆるめるであろうか。

地上には 90 歳をすぎた人々が生きている。当然の結果として、老齢の彼らには弱さが見られる。しかし、彼らは神を信じ、神は彼らを愛しておられる。神のしるしが彼らの上に押されている。彼らは、主が「主にあつて死ぬ死人は幸いである」と言われた者のうちに数えられるであろう。彼らはパウロと共に、「わたしは戦いをりっぱに戦いぬき、走るべき行程を走りつくし、信仰を守りとおした。今や義の冠がわたしを待っているばかりである。かの日には公平な審判者である主が、それを授けて下さるであろう。わたしばかりでなく、主の出現を心から待ち望んでいたすべての人にも授けて下さるであろう」と言うことができる。戦いをりっぱに戦いぬき、信仰を守りとおしたゆえに、主が尊ばれる多くの白髪の人々がいる。(SDA バイブル・コメント [E・G・ホワイト・コメント] 7 巻 981)

第28課 イエスは再び来られる! (II)

なぜ、キリストは再臨なさるのか?

キリストは初臨の際、わたしたちのあがない代を支払うために来られました。こうして、キリストを信じて従う人々がみな永遠の命を受けることができるようになるためです。

「キリストもまた、多くの人の罪を負うために、一度だけご自身をささげられた後、彼を待ち望んでいる人々に、罪を負うためではなしに二度目に現れて、救を与えられるのである」(ヘブル 9:28)。

キリストの再臨は、あらゆる時代から神の聖徒たちを天の御国に集める収穫の時となります。

「神はその民をさばくために、上なる天および地に呼ばれる、『いけにえをもってわたしと契約を結んだわが聖徒をわたしのもとに集めよ』と。」(詩篇 50:4, 5)。

「わたしたちは主の言葉によって言うが、生きながらえて主の来臨の時まで残るわたしたちが、眠った人々より先になることは、決してないであろう。すなわち、主ご自身が天使のかしらの声と神のラッパの鳴り響くうちに、合図の声で、天から下ってこられる。その時、キリストにあつて死んだ人々が、まず最初によみがえり、それから生き残っているわたしたちが、彼らと共に雲に包まれて引き上げられ、空中で主に会い、こうして、いつも主と共にいるであろう。だから、あなたがたは、これらの言葉をもって互に慰め合いなさい。」(テサロニケ第一 4:15-18)。

はじめの引用から、再臨の際には、イエスの足は物理的に地上に触れることはないということがわかります。このお方は、空中にとどまり、地上にいるすべての人をあますことなく見渡されます。天使たちは、空中でイエスに会うために待っている聖徒たちを集めます。その過程において、救われる聖徒たちは栄光を受け、また不死のものとされます。

「ここで、あなたがたに奥義を告げよう。わたしたちすべては、眠り続けるので

はない。終りのラッパの響きと共に、またたく間に、一瞬にして変えられる。というのは、ラッパが響いて、死人は朽ちない者によりみがえらされ、わたしたちは変えられるのである。」(コリント第一 15:51, 52)。

「しかし、わたしたちの国籍は天にある。そこから、救主、主イエス・キリストのこられるのを、わたしたちは待ち望んでいる。彼は、万物をご自身に従わせうる力の働きによって、わたしたちの卑しいからだを、ご自身の栄光のからだと同じかたちに変えて下さるであろう」(ピリピ 3:20, 21)。

その後、イエスに아가なわれた人々、すなわちご自分が贖い代を支払われた人々を連れて、天に戻られるのです。

準備ができてるのはだれか？

「人の子が栄光の中にすべての御使たちを従えて来るとき、彼はその栄光の座につくであろう。そして、すべての国民をその前に集めて、羊飼が羊とやぎとを分けるように、彼らをより分け」(マタイ 25:31, 32)。

イエスが再臨なさるとき、地上には二種類の人々しかいません。一方は羊に象徴され、他方はやぎに象徴されています。羊とは、自分たちの同胞に対する愛の行動によって自らが神の子であることを証明した義人です。やぎとは、自分たちの宗教的な公言にもかかわらず、自分自身の利己的な利益を満足させるためだけに生きた悪人です。

キリストの再臨は、これら二種類の人々に、どのような影響を及ぼすでしょうか。義人にとっては、主の再臨は言葉に尽くせない喜びであり、自分たちのクリスチャン経験を通じてずっと熱心に待ちわびていた瞬間です。「その日、人は言う、『見よ、これはわれわれの神である。わたしたちは彼を待ち望んだ。彼はわたしたちを救われる。これは主である。わたしたちは彼を待ち望んだ。わたしたちはその救を喜び楽しもう』と」(イザヤ 25:9)。

多くの人が主の再臨のための準備ができてはいないでしょう。命へとつながる細くて狭い道を歩くことを選択する人々はほんのわずかです。他の人々について次のように言われています。「…またそのとき、地のすべての民族は嘆き…」(マタイ 24:30)。富む者たちは、彼らの金と銀をもぐらとこうもりに投げ与え(イザヤ 2:20)、神の探る眼差しの前に立つよりは、破滅を嘆願するようになります。

主の再臨の直前に起こる大地震の間、山々は平地にされ、海の島々は消滅し、地上の諸都市は破壊され、廃墟となります。そして諸天は巻物がまかれるように

開かれ、王の王がすべての天使を伴い偉大な白い御座に座しておられるのが見られます。

「地の王たち、高官、千卒長、富める者、勇者、奴隷、自由人らはみな、ほら穴や山の岩かげに、身をかくした。そして、山と岩とにむかって言った、『さあ、われわれをおおって、御座にいますかたの御顔と小羊の怒りとから、かくまってくれ。御怒りの大いなる日が、すでにきたのだ。だが、その前に立つことができようか。』」（黙示録 6:15-17）。

全ての悪人たちは、イエスの再臨の輝きによって滅ぼされます。イエスが聖徒たちを天へ連れて行かれた後に地上に生きたまま残る人はいません（12 課と 21 課を参照）。

イエスはいつ来られるか？

「その日、その時は、だれも知らない。天の御使たちも、また子も知らない、ただ父だけが知っておられる」（マタイ 24:36）。

「だから、目をさましていなさい。いつの日にあなたがたの主がこられるのか、あなたがたには、わからないからである。... だから、あなたがたも用意をしていなさい。思いがけない時に人の子が来るからである。」（マタイ 24:42, 44）。

「人の子が戸口まで近づいていると知りなさい。」（マタイ 24:33）。

わたしたちは、どのように準備できるか？

「キリストもまた、多くの人の罪を負うために、一度だけご自身をささげられた後、彼を待ち望んでいる人々に、罪を負うためではなしに二度目に現れて、救を与えられるのである」（ヘブル 9:28）。

準備をするためには、わたしたちはまずイエスを見て、そしてこのお方に会う準備をしなければなりません。こうすることによって、キリストが突然来られて驚き、準備ができていないところを見られることはありません。

「…彼が現れる時、わたしたちは、自分たちが彼に似るものとなることを知っている。そのまことの御姿を見るからである。彼についてこの望みをいだいている者は皆、彼がきよくあられるように、自らをきよくする。」（ヨハネ第一 3:2,3）。

次に、わたしたちは自分の生活から、悔い改めと告白、またキリストの力のうちに罪に抵抗することにより、罪を完全に取り除かなくてはなりません。この方法において、わたしたちは個人的な日々の経験から、キリストを友のように知るようになります。

「…このように、これらはみなくずれ落ちていくものであるから、神の日の到来を熱心に待ち望んでいるあなたがたは、極力、きよく信心深い行いをしていなければならない。その日には、天は燃えくずれ、天体は焼けうせてしまう。しかし、わたしたちは、神の約束に従って、義の住む新しい天と新しい地とを待ち望んでいる。愛する者たちよ。それだから、この日を待っているあなたがたは、しみもなくきずもなく、安らかな心で、神のみまえに出られるように励みなさい」（ペテロ第二 3:11-14）。

わたしたちは、自分の生活を完全にこのお方にお捧げすることによってのみ、天の御国においてこのお方に会う準備をすることができます。

親愛なる友人のみなさん、イエスは再臨なされます！それは、クリスチャンにとって祝福された希望です。それは、あなたの祝福された希望ですか？

神のみかたちを回復する

Restoring the Image of God



6 月
家族の輪

家族のための神のご計画

「神は寄るべなき者に住むべき家を与え」(詩篇 68:6)

神ご自身が家族関係を造られた。子供を治めるときの唯一の安全な指針は神のみことばである。人間の学問は、神が知っておられないことを発見したことはない。また、子供を取り扱うのに、私たちの主がお与えになった計画にまざるものを考案したことはない。(アドベンチスト・ホーム 342) あまりにも多くの両親が、家族統治という責任を自分たちの肩からすると落としてしまう。悪い傾向を抑え、弱い原則を強め、品性の良い、美しい特性を発達させ、思いと体の全力を正しい水路に向けるには、熱心な心からの働きを要する。ご両親がた、あなたがたは精神的に忍耐強く愛をもってあなたがたの働きを行わないであろうか。神が恵みの露で水をやり、あなたに豊かな収穫を与えてくださるようにと熱心に祈りつつ、尊い種を日々蒔きなさい。神の御子は罪深い反抗的な者たちを贖うために死なれた。わたしたちは自分自身の愛する子供たちを救うためにどのような骨折りまた犠牲にしり込みするのであろうか。

教訓と模範により、幼い者たちが神と神のみ言葉への崇敬の念を教えられるようにしよう。わたしたちの若者の多くは、両親の献身が足りないゆえに内実、不信心になってきている。神の律法が家族全体の律法でなければならない。父親と母親は子供たちが神のご品性を理解するよう導きながら、靈感の言葉と自然の書の双方から彼らを親切に忍耐強く教えよう。彼らが絶えずこのお方の御心を知り、行うよう努めることを、彼ら自身の生活の中で示させよう。天父の是認を得るということは、絶えず子供たちの思いの前に保つべき大きな動機である。神の奉仕は、退屈な仕事としてではなく、尊い特権として、すなわちこの世で誉れある有益で幸福な生活を楽しみ、また来るべき生涯では、限りなくさらに大きな誉れと有用性と喜びを楽しむことのできる特権として示されるべきである。

神はご自分のみ座から命の道に沿って光がすべてを照らすことをお許しになった。昼は雲の柱、夜は火の柱が古代イスラエルのようにわたしたちの前に動いている。約束の地へ子供たちを自分たちと一緒に連れて行くのは、古代の神の民の特権であつたように、今日のクリスチャンである両親の特権である。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 11 月 24 日)

6月2日

祝福された家庭環境

「あなたがたがこれらのおきてを聞いて守り行うならば、あなたの神、主はあなたの先祖たちに誓われた契約を守り、いつくしみを施されるであろう。あなたを愛し、あなたを祝福し、あなたの数を増し、あなたに与えたと先祖たちに誓われた地で、あなたの子女を祝福し、あなたの地の産物、穀物、酒、油、また牛の子、羊の子を増されるであろう。」(申命記 7:12,13)

高価な家屋、念の入った家具、装飾、奢侈、安逸は、幸福で有益な生活の重要条件をみたすものではない。イエスは今まで人類の間でなされた働きの中で一番大きい働きをするためにこの世界にこられた。イエスは神の大使として、人生の最大の結果を得る生活法をお教えるためにおいでになった。神である父がそのみ子のために選ばれた環境とはどんなものであったろうか。ガリラヤの丘の上の人里離れたところにある家、正直で尊い労働によってささえられた家庭、単純な生活、困難と苦労をともなった日々のたたかい、克己、経済、忍耐、喜びにあふれた奉仕、母のそばでの聖書研究の時間……。各時代の最も善良で高尚な人々の多くもこれと同じであった。アブラハム、ヤコブ、ヨセフ、モーセ、ダビデ、エリシャの歴史を読んでみなさい。またそれ以後の、高い責任のある地位をりっぱに果し、その感化が社会の向上に非常に役だった人々の生涯を研究してみなさい。

こうした人々の中で何人がいなかの家庭で育ったであろうか。彼らはぜいたくを知らなかった。また青年期を娯楽に費さず、多くは貧困と苦難と戦わねばならなかった。幼いころから働くことを覚え……悪友とまじわる機会がきわめて少なく、自然の楽しみと健全な友情とに満足し……た。

子供に残すどんな財産よりも優れていてよいのは健康な身体と健全な頭脳とりっぱな品性である。……

気が散る都会の生活から離れ、子供とまじわる場所、神のみわざを通して子供が神について学ぶことができる場所に行き、真実で有用な生涯を築くために子供を教育しなさい。(ミストリー・オブ・ヒーリング 337～339)

両親の特権

「われらの神、主にくらぶべき者はだれか。主は高き所に座し、遠く天と地とを見おろされる。また子を産まぬ女に家庭を与え、多くの子供たちの喜ばしい母とされる。主をほめたたえよ。」(詩篇 113:5,6,9)

あなたがたの子供たちに、教訓と同様に模範によって、単純な食事をすることを教えなさい。彼らに勤勉であること、すなわち単に忙しくするのではなく、有益な労働に携わることを教えなさい。彼らが幼年期であっても、神が彼らに求めておられることを教えなさい。いたるところに道徳上の墮落に直面しなければならないこと、イエスの許に来て自分自身を、すなわち体と精神をこのお方に捧げる必要があること、またこのお方の内に彼らはあらゆる誘惑に抵抗するための力を見出すことを、教えなさい。彼らの思いの前に常に、自分たちが単に自らを喜ばせるためではなく、気高い目的を果たす主の代理人となるために創造されたことを覚えさせなさい。誘惑が利己的な放縦の道へとかりたてるとき、サタンが彼らの視野から神を締め出そうとするとき、「主よ、打ち負かされないように助けてください」と嘆願しながら、イエスを見るようにと彼らに教えなさい。天使たちが彼らの祈りに応えて、彼らの周りに集まり、彼らを安全な道に導いてくれる。

キリストは、弟子たちが世から取り去られるのではなく、悪から、すなわち、彼らがいたところで出会う誘惑に負けることから守っていただけるようにと、彼らのために祈られた。これがどの父親と母親も捧げるべき祈りである。しかし彼らは自分の子供たちのためにこのように神に祈っておきながら、子供には自分の好きなようにさせておくべきであらうか。彼らは食欲が支配権を取るまで好きなようにさせ、それから子供たちを抑制するつもりであらうか。否。節制と自制心はごく幼いときから教えなければならない。この働きの責任は大部分母親にかかっている。もっとも優しい地上の絆(きずな)は、母親とその子供の間の絆である。子供は、より強くより優しいこの一致の絆のゆえに、父親の生活と模範からよりも母親のそれによって、たやすく印象を受ける。しかし母親の責任は重いものであり、父親の不断の助けを必要としている。(クリスチャンの教育 165,166)

6月4日

わたしたちは主の嗣業を どのように取り扱うか

「見よ、子供たちは神から賜わった嗣業であり、胎の実は報いの賜物である。」(詩篇 127:3)

使徒〔パウロ〕は家族関係の重要さと家庭の力強い感化力を認めている。手紙の中で彼は家族にある規則を課している。子供たちについて「これらの者に、まず自分の家で孝養をつくし、親の恩に報いることを学ばせるべきである。それが、神のみこころにかなうことなのである」と言っている(テモテ第一 5:4)。(健康改革者 1877 年 12 月 1 日)

愛はすべての隔てを打ち破る。叱りつけたり、大きな声を出したり、怒って命令したりすることがないようにしなさい。「静まって、わたしこそ神であることを知れ」とのご命令に従いなさい(詩篇 46:10)。主は、精神を律するために絶えず努力する親に、豊かな祝福をお与えになる。キリストの恵みは、品性の辛辣な特質を和らげ、粗野な気質を穏やかにする。

力で支配する人々は、愛によって支配する人々に比べてはるかに感化力が少ない。厳しさは心を頑なにし、抵抗する思いを起こさせる。優しさは心を和らげ、もつとも頑固な意志を征服する。

親の一人びとりに、神は「自分自身によく注意しなさい、父よ、あなた自身に。母よ、あなた自身に」と仰せになる。あなたが子供たちを処罰することができる前に、あなたは神の訓練に自分の身を任せなければならない。高潔な動機と気高い大志で満たされなければならない。日々自分の信任にもっとふさわしい者となるよう自ら努力をしなければならない。そのとき神はあなたに協力してくださる。

家族がよく団結しているべきである。父親と母親は自分たちの責任を共によく考え、子供たちにとってもつとも益になることのために共に働くべきである。彼らの間に不一致があってはならない。子供たちの前で決して互いの計画を批判したり、互いの判断に疑問をさしはさんだりしてはならない。もし妻が経験不足であれば、彼女は夫が子供たちの救いのために働くとき、自分の働きがどこで彼の働きをもっと困難にしているかを見出すよう努力をすべきである。そして夫は彼女に賢い勧告と愛に満ちた励ましを与え、妻の手を支えるべきである。(ビュー・アンド・ワールド 1902 年 7 月 8 日)

より良い識別力を求める

「その子の育て方およびこれになすべき事はなんでしょうか。」(士師記 13:12)

〔多くの者は〕自信をもって、神がそのみ言葉の中でわたしたちに与えてくれた子供たちの訓練方法よりももっと良い方法を知っていると考える。「いかに子を育て、この子に何をなすべきかを、わたしたちに教えて下さい」という熱心な切なる祈りが、彼らの心から上らない。彼らの訓練の結果は、彼らの学識と聡明さすべてをもってその人々の自慢する知恵が、愚かさ以外にないことを証明する。甘やかし、気ままにさせる両親は、子供たちの赤ん坊時代から抑制なく成長するのを許す。こうして彼らのあつかましく利己的で不愉快なやり方が、習慣として固まり、彼ら愛することも愛されることもない者にする。……

親が自分の子供たちを偏愛するのは、自然のことである。特にこれらの親が自分たちには優秀な能力があると感じている場合、自分たちの子供も他の子供たちに勝って優秀であるとみなす。それゆえに他人であれば、厳しく非難することを、自分の子供のときは、利口で気が利いていると大目に見る。このえこひいきが自然となっている間は、不公平であり、クリスチャンではない。わたしたちが自分の子供たちの過ちを正さないままにするなら、彼らに大きな不正行為がなされるのである。多くの者は、「彼らは罰するには幼なすぎる。もっと大きくなって説得できるようになるまで待とう。彼らはそれらの悪い傾向の多くを捨てるようになる。」と言い訳して、子供たちの内に品性の悪い特質を育てる。このようにして彼らの悪い習慣は、それらが第二の性質となるまで成長し、強固になるままにされる。……そのような進路の悲しい結果を十分に知ることができるのは永遠においてのみである。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881年11月24日)

わたしたちは大きな危機のために子供たちを準備させているであろうか。わたしたちは敵の立場と彼らの戦いの方を自分自身と家族が理解する準備をしているであろうか。わたしたちの子供は原則と義務のあらゆる事柄にしっかりと揺るがないでいられるように、決定の習慣を形づくっているであろうか。わたしたちはみな時のしるしを理解し、自分自身と子供たちを十分に準備させ、神が、戦いの際にわたしたちの避けどころ、また砦となってくださることができるようにとわたしは祈る。(ビュー・アンド・ヘラルド 1889年4月23日)

6月6日

わたしには逆転した統治が あるのだろうか

「わたしはわらべを立てて彼らの君とし、みどりごに彼らを治めさせる。民は互に相しえたげ、人はおのおのその隣をしえたげ、若い者は老いたる者にむかって高ぶり、卑しい者は尊い者にむかって高ぶる。……わが民は幼な子にしえたげられ、女たちに治められる。ああ、わが民よ、あなたを導く者はかえって、あなたを迷わせ、あなたの行くべき道を混乱させる。」(イザヤ 3:4,5,12)

両親は一般的に子供たちに対して適切な進路をとっていない。彼らは子供たちにしかるべき抑制をせず、彼らが自尊心にふけり、自分自身の性癖に従うままにしている。古代においては親の権威が尊重されていた。子供たちは両親に従い、彼らを畏れ敬っていた。しかしこの終わりの時代には秩序が逆転している。ある両親は子供たちの言いなりになっている。彼らは子供たちの意志に反対するのを恐れ、彼らに譲る。しかし子供たちが両親の屋根の下におり、その庇護の下にいるかぎり、親の支配に従うべきである。親は自分たちの見解が正しいと見える道に従うことを要求しつつ、断固として動くべきである。……

両親は子供たちを抑制するよう要求されている。子供たちの救いは大部分両親の追い求める進路にかかっている。(教会への証 1 巻 216,217)

あなたの子供たちは今あなたの支配の及ばないところにおり、あなたが命じるには大きくなりすぎているとあなたは言い訳をする。あなたはこの点において間違っている。あなたの子供たちはだれも、あなたの屋根の下に保護されているかぎり、あなたの権威を尊重し、あなたの統率に従うのに大きすぎることはない。……

しかし、あなたが上の二人の子供たちを甘やかして破滅に至らせていたとき、彼らをしつけるべきだという光が神からあなたに送られたときに、彼らはまだあなたの統制できる範疇にあったが、今はその域を越えてしまった。しかし、あなたには、罪人の道に歩み、不従順で感謝をしない、汚れた、神を愛するよりは快楽を愛する三人の年下の子供がいる。あなたの末の子は自分の兄弟の足跡に従っている。あなたは彼に対してどのような進路を追い求めているのだろうか。あなたは勤勉と有用性の習慣をつけるよう、彼を訓練しているのだろうか。あなたは非常に怠っていた働きを取り上げ、過去を贖っているのだろうか。あなたは神のみ言葉におののいているのだろうか。(同上 2 巻 623,624)

健全な抑制

「主は……〔アブラハム〕のことを言われた『わたしは彼が後の子らと家族とに命じて主の道を守らせ、正義と公道とを行わせるために彼を知ったのである。』（創世記 18:17,19)

母親の働きは大いなるものであるが、父親もまた子供たちの教育と訓練でなすべき役割を持っており、彼は忠実にその働きを行うこの上なく厳粛な義務のもとにいることを決して忘れてはならない。特に子供たちの年齢が進むとき、抑制し、管理し、導くために、母親の感化力と調和して、父親の感化力が必要となる。
.....

神は、父親一人びとりが子供たちに正しい教訓と良い模範を与えるだけでなく、悪を行おうとする彼らの傾向を機敏にまた決断力をもって抑制することをお命じになる。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 11 月 10 日)

あなたの子供たちの教養に細心の注意を払いなさい。真理の原則のうちに適切にしつけられ、神への愛と畏れが品性に織り込まれた一人の子供は、世の中では評価できないほど善のための力を持つ。賢い両親の働きは、世には決して正しく評価されないが、審判を行う者がその席に着き、かずかずの書き物が開かれるとき、彼らの働きは神がご覧になるように見え、人々と天使たちの前で報われる。忠実な方法で育てられた一人の子供は世の光であったことが知られる。この子供の品性建設を見守るには涙と不安と眠れぬ夜を要したが、その働きは賢くなされ、その両親は主人であるお方の「よくやった」とのみ声を聞く。

両親がた、あなたがたの子供たちがついにはクリスチャンになることができるために、彼らが非常に幼い間に、その思いを訓練するのを始めなければならない。彼らの救いのために全力を尽くそう。彼らが神の王国で尊い宝石として輝くのにふさわしくなるために、あなたがたの保護のもとに置かれているかのように行動しなさい。彼らが責任をもつことができる年齢ではなく、自分たちの罪を悔い改めキリストを告白するのに十分な年齢ではないといった誤った考えをもって、破滅の穴の上で彼らを寝かしつけるようなことがないように気をつけなさい。(パイプ・オブ・トラース 1893 年 9 月 1 日)

6月8日

わたしたちの子供たちへの真の愛

「見よ、主の大いなる恐るべき日が来る前に、わたしは預言者エリヤをあなたがたにつかわす。彼は父の心をその子供たちに向けさせ、子供たちの心をその父に向けさせる。これはわたしが来て、のろいをもってこの国を撃つことのないようにするためである。」(マラキ 4:5,6)

冷淡やうち解けない気分のために両親と子供の間にへだたりを生じさせてはならない。両親は子供と親しみ、その趣味や性質を理解しようと努力し、子供の気持になって子供の心の中にある考えを引き出すべきである。

両親方よ、あなたが子供を愛し、子供を幸福にするために全力を尽していることを子供に知らせなさい。そうするならば必要な束縛も子供の柔軟な頭には非常に大きい効果をもたらす。「彼らのみ使たちは天にあって、天にいますわたしの父のみ顔をいつも仰いでいる」ことを覚えて、優しさとおわれみをもって子供を取り扱いなさい(マタイ 18:10)。天使が神より与えられた働きを自分の子供にしてほしいと思うならば、自分のなすべきことを果し、天使と協力しなさい。

真の家庭における賢明で愛情のある指導のもとに育った子供は快楽や友人を求めてさまよい出る気持を持たない。罪惡も子供の心をひかず、家庭にみなぎる精神がその品性を形成し、子供が家庭を出て、社会にたつとき、誘惑に対して強い防御となる習慣をつくり、道義を築くのである。

子供も両親と同じく家庭においては重要な義務がある。子供は家庭という会社の社員であることを学ばなければならない。彼らは養育され、衣類を与えられ、愛され、世話されているのであるから、自分の家庭の重荷を分担して、おのが分を尽し、自分が一員となっているその家庭にできるだけ幸福をもたらし、こうした数々の恩恵にこたえるべきである。

子供はときどき、束縛されると怒りたくなるものであるが、大きくなった後、無経験な時代に自分を保護し、指導した忠実な養育と厳格な注意について両親をほめたたえるであろう。(ミストリー・オブ・ヒーリング 362,363)

子供たちの心の近くに

「〔バプテスマのヨハネ〕はエリヤの霊と力とをもって、みまえに先立って行き、父の心を子に向けさせ……、整えられた民を主に備えるであろう。」(ルカ 1:17)

親は自分の子供たちの救いのために、努力を倍加すべきである。忠実に彼らを教え、子供たちができるかぎり自分たちの教育を寄せ集めるがままに放っておいてはならない。彼らが無分別に善と悪を学んでも、いつか善がまさって、悪がその感化力を失うであろうとの考えをもって放っておいてはならない。悪は善よりも早く増し加わる。彼らの学んだ悪が、多くの年月の後に消されることもあり得る。しかし、だれがその危険を犯すであろうか。時は短い……子供たちのために友人を選ぶのは、親の義務であって、子供が自分で選ぶのを許してはならない。もし親がこの働きをしないのなら、だれがするであろうか。あなたが子供たちのために持つべき関心を、他人が持つことができるであろうか。彼らは親が持つような変わらない心遣いや深い愛を持つことができるであろうか。(霊的賜物 4 巻 142)

ある親は自分の子供たちにあまりにも自由を与えることによって間違いを犯す。彼らはときどき、彼らを信用するあまり、彼らの欠点が見えない。子供たちに、費用をかけて、両親や保護者の同伴なしに少し離れた訪問を許すことは間違っている。それは、子供たちに悪影響を及ぼす。(同上 144)

わたしの子供たちが墮落することから守るために、彼らが他の男の子たちと同じベッドや部屋で寝ることを許したことがない。旅行中も状況により必要であれば、彼らを他人と寝かせるよりは、むしろ彼らのために床の上にちょっとした寝どこを用意した。わたしは彼らを乱暴で無礼な男の子たちとの交わりから守るよう努め、また何か良い刺激を与えて、家庭での彼らの仕事を喜ばしく楽しいものとしてきた。彼らの思いと手を忙しくさせておくことによって、彼らは街で他の男の子たちと遊び、街の教育を得るような時間はほとんどなかった。(厳肅な訴え 56)

あなたは、自分の子供たちがどのような種類の教育を受けているかを知らずに自分がいなくて他の子供たちを交わるのを許すのであろうか。彼らが他の子供たちとだけであることを許してはならない。彼らに特別な配慮をしない。(家庭の教育 107)

6月10日

わたしの価値ある群れを世話する

「誘惑に陥らないように、目をさまして祈っていなさい。心は熱しているが、肉体が弱いのである。」(マタイ 26:41)

子供たちを治める責任を放棄して他人に渡すことがないよう気をつけなさい。だれ一人として、神があなたにお与えになった責任からあなたを正当に解放できる人はいない。多くの子供たちは、自分たちの家庭の統治における親戚や友人の干渉によって、すっかり台無しにされている。母親は、賢明に自分の子供を管理しているときに、自分の姉妹や母親が干渉することを許すべきではない。母親は、自分の母親からごく最上の訓練を受けたかもしれないが、十のうち九の場合まで、祖母は自分の娘の子供たちを甘やかし、無分別なほめ言葉で台無しにしてしまう。母親の忍耐強い努力はこのような一連の取り扱いで無効にされてしまう。概して祖父母は自分たちの孫を育てるのにふさわしくないと言われている。男女は、自分たちの両親に敬意を払い、尊重すべきである。しかし、自分自身の子供の管理のことに關しては、彼らに何の干渉も許さず、自分自身の手にしっかりと統治の手綱を握っているべきである。

母親はこの子供たちの訓練の働きにおいて、いつも最高位を占めているべきである。父親に重大かつ重要な義務が課されているが、母親は、ほとんどの時間を特に自分の子供たちが幼いころに一緒に過ごすため、いつも彼らの特別な指導者であり、同伴者でなくてはならない。……

親は自分の立場の責任に關して、無気力な眠りのうちにいるかのようである。彼らは世に罪と墮落が満ち、新聞は犯罪と悲惨さの報道で満ちているを見る。それなのに、これらのことによって目覚めて、生活とその要求に対する正しい見解をもち、自分たちの子供たちに正しい習慣をつけるよう育てるためにさらに警戒しようとしなさい。人々はこの時代の青年たちの道徳的状態が低いこと、また彼らの悪への傾向に衝撃を受けている。しかし、どこに主な原因があるのかに気づいている人はほとんどいない。わたしたちは親が目覚めて、神から自分たちにお与えられた責任を正しく理解しないかぎり、社会における改革を見ることはない。(健康改革者 1878 年 11 月 1 日)

神の憐れみに協力する

「しかし主のいつくしみは、とこしえからとこしえまで、主を恐れる者の上にあり、その義は子らの子に及び、その契約を守り、その命令を心にとめて行う者にまで及ぶ。」(詩篇 103:17,18)

宗教的な教えが、幼少のころより子供たちに与えられるべきである。それは処罰するような精神ではなく、快活で幸せな精神で与えられるべきである。母親は、子供たちが気づかないようなかたちで誘惑が来ないように、絶えず見張っている必要がある。親は賢明な快い教えによって、自分の子供たちを守るべきである。これらの経験のない者たちのまさに最高の友として、彼らは勝利する働きにおいて彼らを助けるべきである。なぜなら、勝利者になることが彼らにとってすべてを意味するからである。彼らは正しいことをしようと努めている自分自身の愛しい子供たちを主の家族の若い一員とみなし、服従の大路にまっすぐな道を作る彼らを助けるために、真剣な関心を感じるべきである。愛情深い関心をもって、彼らに日々神の子となること、また神への服従のうちに意志を明け渡すことの意味を教えるべきである。彼らに神への服従には、自分の親への服従が含まれていることを教えなさい。これは、日々時々刻々の働きでなくてはならない。両親がたよ、見張りなさい、見張って祈りなさい。そして自分の子供たちをあなたの連れ合いとしなさい。(教会への証 6 巻 93,94)

あなたは自分の子供たちを愛をもって正すべきである。あなたが怒るまで彼らを自分自身の道に行かせておいてから、彼らを罰してはならない。そのような矯正は、それを矯正するよりも、ただ悪を助長するだけである。あなたが自分の子供たちに対する義務を忠実に果たした後は、彼らを神の許へ連れて行き、あなたを助けて下さるように求めなさい。このお方にあなたが自分の分を果たしたことを告げ、それから信仰のうちにあなたのできないこのお方の分を果たして下さるように求めなさい。子供たちの気質を和らげ、彼らを神の聖霊によって穏やかに優しくして下さるよう、求めなさい。このお方はあなたの祈りをきいて下さる。このお方はあなたの祈りに応えることを望まれる。(ビュー・アズ・ヘルド 1854 年 9 月 19 日)

神は高く上げられたお方であるが、祈りの声はこのお方のみ座に届く。クリスチャンの母親は万物の御父が心にかけておられる。このお方はあなたの嘆願を退けられたり、あなたや子供たちを戦いの日にサタンに翻弄されるがままにされることはない。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1909 年 3 月 3 日)

6月12日

各時代のための奇跡

「後になって、あなたの子が『これはどんな意味ですか』と問うならば、これに言わなければならない、『主が強い手をもって、われわれをエジプトから、奴隷の家から導き出された。』」（出エジプト記 13:14）

すべての人が世とその感化力との接触の中で直面しなければならないテストのために自分の子供たちを準備することにおいて、あまりにも断固とした働きがなされてこなかった。子供たちは、神の戒めとイエス・キリストの証に忠実であり続けるすべての人々の前にある恐るべき発布の時に誘惑に抵抗し、正しいことの原則に固く立つのに十分強い品性を形成するための助けを受けてこなかった。

親は青年たちが日ごとに直面しなければならない誘惑に彼らがどのように勝利するかを教えるために、それらの誘惑を理解する必要がある。（レビュー・アンド・ヘラルド 1911 年 10 月 12 日）

クリスチャンの父親は自分の家族のハウス・バンド（家の帯）であり、彼らを神のみ座近くに結びつける。彼の子供たちへの関心は決してゆるんではならない。家族に男の子のいる父親はこれらの落ち着いた男の子たちをまったく母親の世話に任せっぱなしにすべきではない。これは彼女にとって、重すぎる重荷である。彼は自ら彼らのつれ合い、また友となるべきである。彼は悪い交友から彼らを守るために自ら尽力すべきである。母親にとって自制を働かせるのは難しいであろう。もし夫が、自分の妻の弱さが子供たちの安全を脅かしているのを認めるならば、自らもっと重荷を引き受け、自分の息子たちを神に導くためにできることをすべたすべきである。

親は、非常に多くのことがかかっている働きを自分たちだけで実行するよう放っておかれてはいない。キリストは、「わたしの許に來なさい。わたしがあなたの重荷とあなたの困惑を負ってあげよう。天と地の一切の力はわたしに与えられている。わたしがあなたに力を与える」と言われる。父親と母親の方がた、このお方のみ許へ行きなさい。あなたがたの多くは、もっとキリストと密接につながらない限り、自分の信任をしかるべく果たすことができない。ある者は、「なぜ主は地上におられたときのように、今日奇跡を働いて下さらないのか」と尋ねる。家庭において親にキリストの生活を送らせなさい。そうすれば自分の子供たちの生活における変化が、神の奇跡を働く力を証するようになる。（同上 1902 年 7 月 8 日）

わたしはどのような口調で 話しているであろうか

「〔徳ある女は〕彼女は口を開いて知恵を語る、その舌にはいつくしみの教がある。」（箴言 31:26）

あなたの愛情を自分のまわりにいる者と分かち合い、彼らの幸福に貢献できるすべての機会をとらえなさい。親切な言葉、同情のまなざし、感謝の表現は、苦闘している孤独な多くの人にとって、渴いた魂への一杯の冷たい水のようなものである。元気づける一言、一つの親切な行為は、弱った肩に重くのしかかっている重荷を軽くするために遠くにまで及ぶ。真の幸福が見出されるのは、無私の働きである。そしてそのような奉仕のすべての言葉や行為は、天の書にキリストになされたものとして記録される。「わたしの兄弟であるこれらの最も小さい者のひとりにしたのは、すなわち、わたしにしたのである」（マタイ 25:40）。……

まなざし、声の調子、行動—これらはみな家庭の輪を幸福にするか損なうかの感化力を持つ。それらは子供たちの気質や品性を形成している。それらは信頼や愛情をいだかせるか、さもなければ壊しがちである。すべてはその感化力において、善か悪か、幸福かみじめかのいずれかである。わたしたちは家族に対して、み言葉の知識を実生活に持ちこむという負債を負っている。わたしたちが家族関係においてつながりのある人々を純潔にし、啓発し、慰め、励ますためにできることはすべてなされるべきである。（教会への証 7 卷 50）

ご両親がた、あなた自身の家庭における教会で、恵みの働きを始めなさい。あなたがたが天使たちと協力していることがあなたの子供たちにわかるように、自らふるまいなさい。必ず日ごとに改心しなさい。あなた自身と子供たちを、神の王国における永遠の命のために訓練しなさい。御使たちはあなたの強力な助手である。サタンがあなたを誘惑するであろうが、屈してはならない。敵につけこまれるようなことを一言も語ってはならない。……

それぞれ家族の一員は次のように決心しようではないか。「わたしはクリスチャンになる。なぜなら、この地上の学校で、天国のもっと高い学級に入れるような品性を育てなければならないのだから。自分が人にしてほしいと思うように、人にしてあげなければならない。なぜならこの世でキリストを表す人たちが、天の大庭に入ることができるのだから」。家庭生活をできるだけ天国に近いものにしなさい。（家庭の教育 599）

6月14日

不必要に気を散らすものを禁じる

「わたしは全き道に心をとめます。……わたしは直き(まったき)心をもって、わが家のうちを歩みます。わたしは目の前に卑しい事を置きません。」(詩篇 101:2,3)

詩篇 101 篇に記録されているダビデの誓いは、家庭の感化力を守る責任を担っているすべての人の誓いであるべきである。(天国で 215)

家庭での不忠実と、外からの偶像礼拝的な感化力を通して、ヘブルの青年たちの多くは、神が彼らのために計画しておられた教育とは大幅に違った教育を受けた。彼らは異教徒の方法を学んだ。……

わたしたちは神の特別な民として、わたしたちの神への忠誠を維持するために注意深くなければならない。悪が世に増し加わる一方で、神の民は理解力と、神のみ事業への聖化された献身と、義と不義を識別する知覚力の鋭さを増し加えるべきである。わたしたちはこの時代に、どんな危険をも犯す余裕はない。……

わたしたちは善を生みださないようなすべての感化力を家庭から閉め出すために努力すべきである。この問題において、ある親は大いに学ぶべきことがある。物語雑誌や小説を好きに読んでかまわないと感じる人々にわたしは言う、あなたは自分が刈り集めたくないような収穫の種をまいているのである、と。そのような読み物からは、霊的な力を何も得られない。むしろみ言葉の純粋な真理に対する愛を破壊してしまう。小説や物語雑誌という手段を通して、サタンは神のみ言葉を勤勉に研究すべき思いを、非現実的でつまらない思想で満たすために働いている。こうして彼は、人生の厳しい問題に要求される時間とエネルギーと自律性を何千何万もの人々から奪っているのである。……

大いなる祝福と霊的な強さは、重要でないものを取り除き、堅い決意をもって主の来臨のための準備の働きに取りかかる家族にもたらされる。神は親に彼らの子供たちがキリストのような経験を得るのを助ける働きを委ねてこられた。あなたは、言葉だけでなく信心深い模範によって、このお方のための決定的なメッセージを担うことにより、主の道を備えるであろうか。(レビュー・アソド・ヘラルド 1911 年 10 月 5 日)

キリストの助けを通して望む

「わたしはあなたと争う者と争い、あなたの子らを救うからである。」(イザヤ 49:25)

わたしたちは万事につけ神の勧告に従うことを求めよう。なぜなら、このお方は知恵において無限だからである。過去において、わたしたちが自分たちの子供や青年たちのためにできたはずのことを十分にできなかったとしても、今悔い改めて時を償おう。……「前進せよ」とのメッセージは今も聞こえており、繰り返されている。(教会への証 6 巻 149,150)

イエスはすべての母親の心の重荷をご存じである。このお方はすべての緊急時における彼女の最上の友であられる。このお方とこしえのみ腕は、神を恐れる忠実な母親を支える。このお方は地上におられたときに、貧困や欠乏に苦闘し、自分の子供たちを養育するのに多くの不安な心配事や困惑を持った母親をもっておられた。このお方は劣するすべてのクリスチャンの母親に同情し、彼女の熱心な祈りを聞かれる。悪魔にとらわれた娘を持ったカナンの女の不安な心を取り除く目的で長い旅路を行かれた救い主は、そのとき嘆願者のためにして下さったのと同じように、今日の苦しむ母親のために多くのことをなし、その子供たちを祝福して下さい。

埋葬のために運ばれていただ一人の息子をやもめに返しておやりになったお方は今日、子供を失った母親の苦悩によって心を動かされる。マリヤとマルタに埋葬された兄弟を戻しておやりになり、ラザロの墓のところで同情の涙を流されたお方、マグダラのマリヤを許されたお方、ご自分が苦悩のうちに十字架にかかっておられるときにご自分の母親を覚えておられたお方、ご自分の復活後に泣いている女たちに姿を現し、「『わたしは、わたしの父またあなたがたの父であって、わたしの神またあなたがたの神であられるかたのみもとへ上って行く』と、彼らに伝えなさい」と言って、彼らをよみがえられた救い主を宣べ伝えるご自分の使命者とされたお方は、今日女たちの最上の友であられ、彼女がご自分を信頼するならば、必要な時にいつでも助けて下さる。……

母親は自分たちの心配や困惑をもってイエスの許へ行くことができる。彼らは自分たちを支える十分な恵みと、自分たちの子供の管理における助けを見出すことができる。

自分の重荷を救い主の足元に置くすべての母親のために門は開かれている。(ハ・イヴル・エコー 1893 年 9 月 1 日)

6月16日

助けになることを教える

「子をその行くべき道に従って教えよ、そうすれば年老いても、それを離れることがない。」(箴言 22:6)

あまりにもしばしば、親は子供たちのうちに悪を助長するような道を進む。厳しく容赦しないため、彼らを反逆へと追い立てる。その後、なぜこれほどまで悪い品性の特質をもっているのかといふかり、非常に熱心に子供の頑固な意志を砕こうと努める。彼らが間違いを犯しているのは、彼の意志を砕こうとしているところである。子供の意志は、砕くのではなく、訓練し、たわませるべきなのである。(ビュー・アソド・ヘラルド 1902 年 7 月 8 日)

子供たちは有用な者となるよう教育することができる。彼らは生来、活動的で忙しくしている傾向がある。そしてこの活発さは訓練を受け、正しい方向へと導かれやすい。各々の子供に、親や保護者に対して責任をもって果たすべき何か特別な仕事を持たせることによって、子供たちは若いときに、日ごとの自分たちの重荷を負うよう教えることができる。彼らはこうして若いうちに義務のくびきを担うことを学ぶようになる。そして、自分たちの小さな仕事をなすことが喜びとなり、善行によってのみ得られる幸福を彼らにもたらすのである。……

子供たちが大きくなると、さらに多くを彼らに要求することができる。彼らの仕事は、消耗させるような労働でも、疲れ果てて彼らを意気消沈させるような長々とした働きであってもしない。そうではなく、最も望ましい身体的な発達や、思いや品性の適切な育成のために、賢明に選択されたものであるべきである。

仕事は子供にとって良いものである。時間の大部分を有益な者として働きに携わるとき、子供たちはもっと幸福になる。彼らの無邪気な楽しみは、自分たちの仕事を首尾よく成し遂げた後のほうが、さらに熱心な喜びをもって楽しむものとなる。……母親は、自分たちの子供たちを小さな尊い助け手とすることができる。そして彼らに有用な者になることを教えるかたわら、自分たちも人間の性質や、これらの元気な若い人たちをどのように扱うべきかを知り、小さい者たちと接触することによって、彼らの心を温かく若々しく保つことができる。……

正しく訓練された子供たちは、年が進むにつれ、自分の友達の重荷を軽くするための労働を愛することを学ぶ。この日ごとの仕事は、怠け者がさらされている多くの誘惑に対して戸を閉じるのである。(健康改革者 1877 年 12 月 1 日)

建設的な矯正

「あなたの子を懲らしめよ、そうすれば彼はあなたを安らかにし、またあなたの心に喜びを与える。」(箴言 29:17)

子供が最初に教えられるべき最初の教訓は、服従の教訓である。彼らが自分の親に服従することを学ぶとき、彼らにとって神に服従することは難しくなくなる。服従は彼らの性質の一部となる。

しかし、親が自分の子供たちに服従を教えることができる前に、彼ら自身が神への服従によって教訓を学ばなければならない。彼らが自己規律の意味と価値を学ぶまでは、いかに正しく自分の子供たちを律することができようか。彼らがまず自ら、自制、自己否定、忍耐、忠誠の困難な高さまでのぼらない限り、いかに自分の子供たちをその高さにまでに導きのぼることができようか。

親が子供の前で気分にかけて自制を失っておいて、なぜ子供がこんなに制しにくいかをいぶかる。しかし、彼は何を期待することができようか。子供は模倣するのに早い。彼らは、自分の親が怒りを爆発させることによって教えた教訓を実行に移しているにすぎないのである。……

服従と反逆は罰せられなければならない。しかし、罰はキリストの精神をもって与えられるべきことを覚えていなさい。服従を、怒りの言葉の嵐をもってではなく、断固としてかつ思いやりをもって要求しなさい。そして、あなたの子供を律する必要が生じたときには、あなた自身の天父への関係を思い出しなさい。あなたは、このお方の前に全き歩みをしてきたであろうか。あなたは、強情で不服従ではないであろうか。あなたは絶えずこのお方を悲しませてはいないだろうか。しかし、このお方はあなたを怒りのうちに取り扱われるであろうか。また、あなたの子供が悪への傾向を受け継いだのはあなたからだということも覚えていなさい。あなたがどんなにしばしば成長した子供のようにふるまっているかを覚えていなさい。あなたはクリスチャン経験が何年にもなり、自己規律のために多くの機会があったにもかかわらず、何とたやすくあなたは刺激されて怒りを発することであろう。そうであれば、あなたの子供たちはあなたほど自制を学ぶ機会がなかったことを覚えて、彼らを優しく扱いなさい。……

これほどまでに扱いにくい気質を子供に伝えてしまったことに対して、神に許しを求めなさい。このお方に、あなたの強情な子供を、あなたと彼の天父へもつと近く引き寄せるような方法で扱うことができるように、知恵を与えて下さるよう求めなさい。(レビュー・アンド・ヘラルド 1902 年 7 月 8 日)

6月18日

価値ある忍耐強い辛抱

「あなたがたは耐え忍ぶことによって、自分の魂を勝ち取るであろう。」(ルカ 21:19)

神はあなたを愛しておられ、あなたの多くの過ちや間違いにもかかわらず、あなたに対して非常に忍耐強い。あなたのために働かせて下さるこの優しくあわれみ深い神の愛を見るとき、あなたは自分の子供たちに対してもっと優しく寛容で忍耐づよく許す者となるべきではないであろうか。(教会への証 4 巻 362)

わたしたちは、厳しい非難によって子供たちを失望させたり、感情的な矯正によって彼らをいらだたせておきながら、後になって衝動が変わると、彼らをキスしてなだめたり、有害なほうびによって彼らを損なったりするようしつけには、まったく共感しない。過度な甘やかしも不当な厳しさも同様に避けるべきである。油断のない見張りや堅固さを欠くことができない一方で、同情と優しさもまた不可欠である。ご両親がた、自分が誘惑と苦闘している子供たちを扱っていること、それらの悪の衝動は、彼らにとって成人した人々を襲う誘惑と同様に抵抗するのが難しいことを覚えていなさい。本当に正しいことをしたいと願っている子供たちも何度も何度も失敗し、そのたびに精力と辛抱のための励ましを必要としていることがある。これらの若い思いの働きを祈りの気遣いをもって見張りなさい。すべての良い衝動を強め、すべての高尚な行動を励ましなさい。……

親の働きは継続的である。それを一日は精力的にとりかかりながら、翌日はなおざりにするようなものではない。多くの人は、働きを始める用意はできているが、辛抱強くそれを続けようとしなない。彼らは何か大きなことをしたり、大きな犠牲を払うことを願っているが、毎日の生活の小事におけるたゆまない心遣いや努力や、時々刻々、強情な傾向を取り除いて訓練することや、少しずつ必要に応じて教えたり、譴責したり、励ましたりする働きにはしり込みする。彼らは頂上に一歩ずつ進んで行く代わりに、一足飛びに到着し、いつんに子供たちの欠点が矯正され、正しい品性を形成することを見たいと願う。しかし、彼らの希望が直ちに実現しないため、希望を失う。そのような人はみな使徒の次の言葉を思い出して勇気を得よう。「わたしたちは、善を行うことに、うみ疲れてはならない。たゆまないでいると、時が来れば刈り取るようになる」(ガラテヤ 6:9)。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 11 月 24 日)

時の緊急性

「愛は隣りに人に害を加えることはない。だから、愛は律法を完成するものである。なお、あなたがたは時を知っているのだから、特に、この事を励まねばならない。すなわち、あなたがたの眠りからさめるべき時が、すでにきている。なぜなら今は、わたしたちの救が、初め信じた時よりも、もっと近づいているからである。」(ローマ13:10, 11)

今ほど多くのことが危険にさらされている時代はかつてなかった。この世代ほど重要な責任が負わされている世代はかつてなかった。なぜなら、神はこの時代の人々に、最後の警告のメッセージを委ねてこられたからである。

ご両親が、次の厳粛な問いを自ら問うてみなさい、「わたしたちは自分の子供たちを親の権威に服従するように、またこうして神に従い、神を愛し、このお方の律法を行動と生活の最高の導き手として固守するよう教育してきたであろうか。わたしたちは、彼らが善を行うために巡回し、キリストのための伝道者になるよう教育してきたであろうか」。信じるご両親がた、あなたの子供たちは、戦いの日に主のための決戦を戦わなければならないであろう。そして平和の君のために勝利を得るとき、彼らも自分自身のために勝利を得るであろう。しかし、彼らが主を畏れるように育てられておらず、キリストの知識も天とのつながりもないならば、道徳的力がなく、エホバの安息日にとって代わるために偽の安息日を打ち立てることによって、あえて天の神より自らを高める地上の支配者たちに屈するようになる。この権力の優しい憐れみは、牢獄や土牢において表されるであろう。すでに準備は進められており、獣の像を作ることになる動きは進展しつつある。預言の予告を成就する諸事件が、地上歴史において引き起こされるであろう。……

父親がた、母親がた、わたしはあなたがたに、自分の子供たちのために最も熱心な努力をなすよう訴える。彼らに日々宗教的な指導を与えなさい。神を愛し、正しいことの原則に対して忠実であるよう教えなさい。高尚で熱心な信仰をもって、聖霊の神聖な感化力によって導かれ、今こそ働きなさい、働きなさい。一日たりとも、一刻たりとも延ばしてはならない。自分の子供たちに、心は自制と自己否定のために訓練を受けなければならないことを教えなさい。生活の動機は神の律法と調和していなければならない。自分の子供たちがキリストから離れたまままで成長することに満足してはならない。彼らが冷たく無関心であるときに、安心してはならない。昼も夜も神に叫びなさい。あなたの子供たちの魂の救いのために祈り、働きなさい。(レビュー・アンド・ハルト 1889年4月23日)

6月20日

尊敬を教え、獲得する

「肉親の父はわたしたちを訓練するのに、なお彼をうやまう」(ヘブル 12:9)

主は、神を畏れる思いの満ちた家庭の宗教を、わたしたちが培うことを喜ばれる。親が自分の子供に対する義務を怠り、正しい原則に従って彼らを治めることをしないとき、敵に彼らの生活の支配権を握る機会が与えられる。親の権威を尊重しないで許されている子供たちは、決して幸せにならない。(上を仰いで 249)

あなたの子供たちにイエス・キリストについて教えなさい。畏敬の念に満ちた口調でこのお方の尊い名をあなたのすべての教訓の中に織り込みなさい。彼らに神を愛し、このお方に対して罪を犯すことを恐れることを教えなさい。あなたは自分の子供たちを教育することばかりでなく、訓練することをも命じられている。特に彼らは礼拝の家を敬うことを教えられるべきであり、礼拝中にひそひそ声や、軽々しさ、軽薄さ、無頓着な不注意、足音を立てて出ていくことなどがあってはならない。子供たちが神の家に対して持つように教えられる敬意があまりにも小さいのを見ると心が痛む。神はご自分の民に宗教的な奉仕に対する大いなる敬意を教えるよう指示を与えてこられた。親は公の集会を子供たちにとって最高の関心事とするよう研究すべきである。こうして、何がクリスチャン品性を構成しているかについて彼らが正しい印象を受けるためである。(ビュー・アツド・ワルド 1885 年 4 月 14 日)

小さいことにあまりにも厳しく批判するのは危険である。厳しすぎる批判や、あまりにも融通がきかない規則は、すべての規則を無視するように導き、このように教育された子供はついにキリストの律法に対しても同じ軽蔑を示すようになる。

親は自分の子供を正しく導くことができる前に改心しなければならない。彼らは子供を自分たちに従わせられると期待する前に、神のご要求に従う者とならなければならない。そのとき、彼らの言葉や彼らの思いでさえもイエス・キリストにとらえられるようになる。日ごとに彼らはイエスから学び、このお方の御霊をとらえ、こうして彼らの生活にキリストに似たすがたを現すようにならなければならない。子供や青年時代は模倣する力が強いので、子供たちは自分たちの前に最も完全な型を持つべきである。このようにして、彼らが自分の親の知恵を疑問の余地なく信用することができるためである。(ノートブック・リフレット 1 巻 94)

子供たちと一つになる

「また、だれでも、このようなひとりの幼な子を、わたしの名のゆえに受け入れる者は、わたしを受け入れるのである。しかし、わたしを信ずるこれらの小さい者のひとりをつまずかせる者は、大きなひきうすを首にかけられて海の深みに沈められる方が、その人の益になる。」(マタイ 18:5, 6)

あなたは自分の子供を扱う際に一定でない。ときには、彼らを害になるほど甘やかし、その一方でときには彼らをとても喜ばせる無邪気な楽しみを許さない。あなたは気短に彼らを追い払い、あなたにはつまらない子供じみたものに見える楽しみを彼らは喜ぶことができるのだということを忘れて、彼らの単純な要求をしかりつける。あなたはあなたの年齢の威厳から身がかがめることなく、自分の子供たちの要求を理解し、奉仕するために待機することがない。このことにおいて、あなたはキリストを模倣していない。このお方は、低い者、困窮している者、苦しんでいる者でご自分を一つにされた。このお方は小さい子供を腕に抱き、若い者たちの水準にまで下りてこられた。このお方の愛の広い心は、彼らの試練や必要を把握することができ、このお方は彼らの幸福を喜ばれた。このお方の精神が、雑踏する都市の喧騒や混乱に弱り、悪賢く偽善的な人々との接触到に疲れると、無邪気な子供たちとの交わりに休息と平安を見出された。このお方のご臨在は、決して彼らを追い返したりしなかった。天の大能者は、彼らの質問に応えるために下りて来られ、ご自分の重要な教訓を彼らの子供の理解力に見合うよう単純なものにされた。……

世的に賢く、心の頑なな者をご自分に従おうとせず、神の王国に場所を見いだす見込みが少ない一方で、これらの子供たちはご自分の勧告を聞き、自分の贖い主としてご自分を受け入れることを、このお方はご存じであった。これらの小さい者たちは、キリストの許に来て、このお方の助言や祝福を受けることによって、決して消えることのないこのお方のみすがたと恵み深い言葉を彼らの感受性の強い思いに刻みこまれた。……青年たちの心はキリスト教の教えを最も受け入れやすく、敬神と徳へと感化を与えやすく、受けた印象を保つ力が強い。しかし、これらの傷つきやすく、若い人々は親切をもって近づき、愛と忍耐をもって教えるべきである。(教会への証 4 巻 141,142)

6月22日

幸福な雰囲気の中で訓練する

「あなたがたは、これらの小さい者のひとりをも軽じないように、気をつけなさい。あなたがたに言うが、彼らの御使たちは天にあって、天にいますわたしの父のみ顔をいつも仰いでいるのである。」(マタイ 18:10)

多くの親は自分の子供たちが自分自身と他の人々の祝福となるよう有用性と義務のために教育するという神に対する自分の責任を忘れている。(教会への証 4 巻 368)

あなたの子供たちに親切に話さない。父親がた母親がた、自分がいかに傷つきやすいか、非難されることに対していかにわずかしかな耐えることができないかを覚えていなさい。自分の子供たちもあなたと同様であることをよく考え、理解しなさい。あなたが耐えられないことを自分の子供に負わせてはならない。もしあなたが批判や非難に耐えられないとすれば、あなたよりも弱く、同じくらい辛抱できないあなたの子供たちも耐えられないのである。あなたの心地よい快活な言葉があなたの家庭の中で日光のようであるようにしなさい。あなたの側における自制、思いやり、そして努力は、幾百倍にも報いられる。

父親も母親もだれ一人として、あら探しや小さな間違いや些細なことに対する厳しい批判によって、自分の子供たちの幸福をくすませ、陰鬱な雲をもたらす権利は、一切ない。実際の悪や罪は、罪深いありのままの状態を表されるべきであり、似たような罪や悪が再発することを防ぐために、断固とした堅実な行動がとられるべきである。彼らが自分たちの悪を自覚できるように印象づけなさい。彼らの思いが希望のない状態で放っておかれてはならない。彼らの思いに勇気を残し、彼らがそれを活用してあなたの信用と是認を得ることができるようにしなさい。(霊的賜物 4 巻 143,144)

天の家が、キリストのご臨在なしには祝福の家となることがないように、地上の家もこのお方の永続的な愛がなければ幸せな家とはならない。(サインズ・オブ・サ・タイムズ 1893 年 7 月 3 日)

主が父親と母親に自分たちの責任の神聖さを印象づけて下さるように。あなたが主を畏れるように自分の子供たちを育てることに主と一つになるとき、次の準備をしていることになる一わたしはより高い責任について述べようとしたが、できない。子供たちを訓練するよりも高い責任はない。彼らがバランスの良い均整のとれた男女へと成長し、人類同胞のために役に立ち、主の宮で輝く準備ができるように、彼らをいかに訓練するかを研究しなさい。(同上 1909 年 3 月 3 日)

自制と感謝

「父たる者よ。子供をおこらせないで、主の薫陶と訓戒によって、彼らを育てなさい。」(エペソ 6:4)

現在子供の不従順を悲しんでいる多くの人は、自分を責める以外にない。こういう人は聖書を見て、親として保護者として神が彼らに定めておられることを知るべきである。彼らは長い間おろそかにした責任をとりあげなければならない。へりくだって、子供の教育について神の指示に従わなかったことを神の前に悔い改めなければならない。彼らは自分自身の行動を変えて、聖書を自分の案内者、相談者として、厳密に注意深くそれに従わなければならない。(アドベンチスト・ホーム 201,202)

もし親が自分の子供たちに自制を教えたいと望むなら、親自身がまずその習慣を形成しなければならない。親の小言やあら探しは、その子供たちのうちに短気で感情的な気質を促進する。愛と正義は、家庭の統治において共に立ち並ぶべきである。親の権威に対するすみやかな服従を変わることなく強化しなさい。神は親に子供たちの品性を神聖な型に従って形成するという彼らの仕事をお与えになっておられる。このお方の恵みによって、彼らはこの働きを成し遂げることができる。しかし意志を導き、感情を抑制するためには、忍耐強い骨折りの努力と、また堅固さと献身が要求される。(サインズ・オブ・ザ・タイムズ 1881 年 11 月 24 日)

小言は決して許されない。親からの譴責と批判はその時と場所がなくてはならないが、家庭を居心地の悪い場所にするほど、家庭生活の交わりに入り込んではいならない。往々にして、多くの公での批判よりも、人のいないところでのまじめな一言の方がたやすく欠点を直す。(健康改革者 1874 年 2 月 1 日)

わたしたちは自らを制した時に初めて、自分の子供たちを制することができる。しかし、自分たちの先天的後天的悪への傾向を自分と一緒に家庭生活に持ち込んでいる親が非常に多い。彼らは自分たちの子供つばさを捨ててこなかった。彼らは決して気に留めるべきでないようなことで自分の子供たちに小言を言う。ご両親がた、決してあなたの子供に小言を言ってはならない。彼らを断固として、しかし親切に扱いなさい。彼らを忙しくさせておきなさい。彼らが家族という会社の一部であること、そして母親や父親を手伝うことができることを感じさせなさい。彼らがあなたのためにしてくれたことを感謝しなさい。(彼を知るために 149)

6月24日

静かな一貫性

「父たる者よ、子供をいらだたせてはいけない。心がいじけるかも知れないから。」
(コロサイ 3:21)

子供たちはしばしば乳児のころから甘やかされ、悪習慣が固まってしまう。親は苗木を曲げてしまったのである。彼らの訓練方法によって、品性は醜いものにも、均整のとれた美しいものにも発達する。しかし、多くの者が甘やかすという側で間違いを犯す一方で、他の人々は反対側の極端へ進み、自分の子供たちを鉄の杖で支配する。これらのいずれも聖書の指示に従ったものではないが、両方とも恐ろしい働きをしているのである。彼らは自分の子供の思いを形成しているのであり、自分たちがこのようにしてきた方法に従って、神の日に会計報告を提出しなければならない。永遠がこの生涯でなされた働きの結果を明らかにする。「細枝が曲げられた通りに、木は曲がる」……

もしあなたが子供たちの愛と尊敬を得たいならば、あなたは彼らへの愛情を表さなければならない。感情をほしいままにすることに言い訳の余地はない。それはいつも盲目でゆがんでいる。……

モーセはこの地上に生きたすべての人にまさって柔和であったが、あるとき神のご不興をこうむった。彼はイスラエルの子らの水を求めるつぶやきに非常に悩まされた。彼にふりかかった不当な民の非難が、一瞬、彼にこのつぶやきが自分に対してではなく、神に対してであることを忘れさせた。(教会への証 4 巻 368,369)

クリスチャンの同志よ、魂はあなたがこの世の生活の煩いによろめいているか、あるいは将来の不死の生涯のために準備をしているかどうか、あなたを見ているのである。彼らはあなたの生活の感化力を調べるために、すなわちあなたが家庭において真の伝道者であり、自分の子供たちを天のために訓練しているかどうかを見るために見張るであろう。

クリスチャンの第一の義務は家庭の中にある。父親がた母親がた、あなたの責任は、大きな責任である。あなたは自分の子供たちを命か死のために準備している。あなたはこの地上に住み、またこの生涯における自己満足のためか、あるいは神をとこしえに讃美する不死の生涯のために、彼らを訓練しているのである。どちらであろうか。神があなたがたにお委ねになった一人びとりの子供が神聖な型を受けるようにすることが、あなたの生涯の重荷となるべきである。(キリストを映して 167)

聖霊を通しての礼儀

「見よ、わたしと、主のわたしに賜わった子たちとは、シオンの山にいます万軍の主から与えられたイスラエルのしるしであり、前ぶれである。」(イザヤ 8:18)

真の礼儀正しさは、教訓のように、人生のある時の一回の努力で学べるものではない。それは幼児の時に教えられ自然なものとならなければならない。「悪気はないが、乱暴」とは多くの人について言われることである。そしてあまりにもしばしば問題の始まりは家庭における親にある。夫が夕べに家に帰って来た時にスリッパをもってきてくれた妻に「ありがとう」とほほ笑むことは難しいことであろうか。母親が、そっけなく「ドアを閉めなさい!」と言う代わりに、「ジョン、ドアを閉めてくれる?」と言うことはさらに難しいことであろうか。トムが自分の妹の赤ちゃんの家をひっくり返してしまったときに、なぜ、「ごめんね、そんなつもりじゃなかったんだ」という謝罪の言葉がさっと本能的に出ないのであろうか。

他人や世の中の外の友人には無礼の罪がない多くの人々は、すべてではないとしても、家庭の輪に入ると温和なふるまいをほとんどやめてしまう。夫や妻は、これらの小さくても決して重要でないとは言えない小さな礼儀正しい注意を払わずに済ませてしまう。子供たちは厳しい言葉であちらこちらと命じられるが、数知れないほどの用事に奔走する小さな疲れを知らない足に、「ありがとう」の報いがない。夕食は沈黙のうちに食され、ときどき親からのあら探しや譴責、あるいは子供同士の悪い冗談やからかいによってその沈黙が破られるだけである。夕べには父親は新聞に、母親は自分の縫物に没頭し、ときどき「子供たち、静かにしなさい」「けんかをやめなさい」そしてついに「もう寝なさい」といった有無を言わせぬ命令を与えるために中断するくらいである。

多くの家庭では、お互いの間でめだつた無礼さはないが、ただこれらの単純で愛情深い注意とそれに対して直ちに応じるものがないだけである。すべての家庭における快適さのよい泉である思いやりや優しさのふるまいが欠けている。……朝食や夕食の食卓を家族だけで囲むときにも、来客があるときと同じ礼儀が行き渡るべきである。譴責、不平、不愉快な論争や醜聞は、陰鬱な沈黙と同様に追い払うべきである。(健康改革者 1874 年 2 月 1 日)

6月26日

まれであるが喜ばしい光景

「幼な子、乳のみ子たちの口にさんびを備えられた」(マタイ 21:16)

家族の小さい者たちが、自分より年配の人々にさっと心配りの小さな行為を果たすのを見ることほど、心地よい光景はない。ママのために温かい場所に大きな肘掛椅子をもってきたり、おばちゃんのために足台をもってこようと走りに行ったり、パパのメガネをさがしたりなど、たくさんの小さな行為がこの上なく愛する心を示す。しかし、もしママが決して「ありがとう、かわいい子」と笑顔を返さなかったり、もしパパが「ちょうど欲しかったんだよ、スージー」と小さな心遣いを感謝していることを示さなければ、子供たちはすぐにこの習慣をやめてしまう。小さな人々は、真似をする被造物であり、自分の周りの精神をすぐにとらえる。であるから、もし母親のコットンの糸巻きが彼女のひざから落ちたときに、父親がさっとそれを拾いあげると、輝いている目はその行為を見ていて、素早い思いはそれを記憶する。模範によるほうが、教訓によるよりも何千倍も速く、子供たちは互いに親切に話し、好意に感謝し、優しく私心のないものとなり、家族の快適さを思いやり考慮することを教えられる。……

ある家庭では、反論と議論の精神が調和を損なっている。すべての言葉があたりかもしり切られるように調べられ、一言一言の絶対的な正確さが評価される。重要でない正確さを見張り、ただ批評にさらすためにだけに批評にさらすとき、交わりの自由は深刻なまでに妨げられる。兄弟も姉妹も共に、ときにはほとんど無意識に、半分本気で半分ふざけて互いにかからう習慣を身につける。これは特に、当事者がどのような疑わしい楽しみを経験したとしても、他のすべての人にとって居心地の悪いものである。

真の礼儀がいきわたっている家庭では、その敷居であなたを出迎えるかのようである。あなたは入るときに親切な歓迎を感じる。ぶしつけな目があなたの衣服を入念に調べたりはしない。二階で怒声が聞こえたりしない。不機嫌な子供たちが部屋に送り出されたりしない。主婦や使用人の怠慢をつくらうための有無を言わせぬ命令が与えられたりしない。間違いなく、しかし言葉には表現できない喜ばしい雰囲気家庭に行きわたっている。(健康改革者 1874 年 2 月 1 日)

時間を越えた責任

「あなたを生んだ父のことを聞き、年老いた母を軽んじてはならない。」(箴言 23:22)

あなたは尋ねる、「親は息子や娘の思いや気持ちに関係なく、つれ合いを選ぶべきでしょうか」と。わたしはその質問をあるべきかたちにしてあなたに尋ねる。もし親が少しでも自分の子供たちを愛していれば、そのような行動は大いに親の幸福に影響するものであるのに、息子や娘はまず親に相談することなしにつれ合いを選ぶべきであろうか。そして、子供は自分の親の勧告や嘆願にもかかわらず、自分自身の道にあくまでも従うべきであろうか。わたしは断固として答える、否、決して結婚しないのでないかぎり、第五条はそのような道を禁じている。(教会への証 5 卷 108)

成人してから後でさえも、子供たちは自分の親を敬い、親の快適さに気を配ることが要求されている。彼らは信心深い親の勧告を聞くべきであり、自分たちの人生に数年が加えられたからと言って、自分たちが彼らに対する義務から抜け出たと感じるべきではない。自分の父親と母親を尊ぶ者たちに対する約束の伴う戒めがある。この終わりの時代において、子供たちは、その不従順と無礼で知られている。神は特別にそれに気づいておられ、またそれは終わりが近いしるしを構成している。それはサタンがほとんど完全に青年たちの思いを支配していることを示している。多くの者は年配者をもはや敬わない。年配者を敬うことは時代遅れだと思われている。……

昔、子供たちは自分の親の同意なしに結婚することは許されていなかった。親が自分の子供たちのために選んだ。子供が自分自身の責任で結婚のちぎりを結ぶことは犯罪だとみなされた。問題はまず親の前にもちだされ、彼らはその人が自分たちとの緊密な関係に入る価値があるかどうか、また当事者たちは家族を養うことができるかを考慮するのであった。彼らの家族が神から離れて導かれることがないように、まことの神の礼拝者である彼らが偶像礼拝者と離婚すべきでないことは、最も重要なこととして考えられていた。子供たちが結婚した後でさえも、彼らは自分の親に対してもっとも厳粛な義務の下にいた。……彼らは親の願いが神のご要求と対立しない限り、それを尊重し、従うことが要求された。(同上 1 卷 217,218)

6月28日

わたしたちの青年を守る

「われらのむすこたちはその若い時、よく育った草木のようです。われらの娘たちは宮の建物のために刻まれたすみの柱のようです。」(詩篇 144:12)

父親がた母親がた、あなたの子供たちはあなたの手許からどのように出てきているであろうか。あなたは自分の娘を正しく訓練し、彼女らのために徳ある品性という基礎を敷いているであろうか。(健康改革者 1877 年 12 月 1 日)

女性の真の魅力は、容姿の美しさとか、何らかのたしなみを身につけているとかいうことだけにあるのではなくて、むしろ柔和で穏やかな精神、忍耐、心の広さ、親切、そして他の人々のために喜んで尽くし、耐える事のうちにあるということを、女の子たちに教えてやらねばならない。女の子たちは、仕事をする事、何か目的をもって学ぶこと、目標をもって生活すること、神に信頼し神をおそれること、そして父母を敬うことを教えられねばならない。そうすれば、年と共に少女たちはいつそう清らかな心をもって育ち、自主的で、人々から愛される者となっていく。このような女性を墮落させることはできない。多くの人々を滅ぼした試験や誘惑を、彼女はまぬかれる。(家庭の教育 134)

親は眠っている。子供たちは恋愛病の感傷に夢中になっている。そして真理はこの悪を正す力がない。悪の潮流をとどめるために何をなし得るであろうか。親はもしそうしようと思えば、多くのことができる。……

もし女の子のつき合いがひんぱんに男の子や若い青年に求められているとすれば、何かが間違っている。その若い女の子は、彼女の場所を示し、彼女を抑制し、何がその年の女の子に属しているかを自分に教えてくれる母親を必要としている。

広くいきわたっている墮落した教理、すなわち異性が互いに交じり合わなければならないという教理は、健全な見地からいえば、有害な働きをなしてきた。親や保護者がサタンの持っている利口さの十分の一でも持っていれば、異性の交わりはほとんど害がないものにできる。しかし実際には、サタンは青年たちの思いをくらませる努力に最も成功しており、男の子と女の子が交じり合うことはただ 20 倍も悪を増し加えるばかりである。……

親が目覚めない限り、彼らの子供に希望はない。(同上 455,456)

恐ろしいほどの責任

「あなたに賜わった群れ、あなたの美しい群れはどこにいるのか。」(エレミヤ 13:20)

多くの親は実際には、自分たちの不服従を言い訳し、故意の欠点の言い逃れをすることによって、自分の子供たちに自分たちに従わないように教えている。……神は親に対する不服従と冒涇を並べおかれた。

親に対する不服従は、直接、神への不服従へ導く。そこには一步ほどの違いもない。自分の子供から服従を要求することを怠る親は、事実上、彼らに神のご要求に対して服従しないこと、すなわちいと高き天に対して罪を犯すことを教えているのであり、彼らの魂を危険にさらす。そのような道は、親と子供の双方に、また現世と来世の両方に、苦悩と不名誉と破滅をもたらす。働きが完成して取り返しがつかなくなったとき、親はときに遅すぎるときになって自分たちの生涯の過ちを認め、自分の子供の破滅の原因をゆりかごから成人にいたるまでのその子に対する自分たち自身の怠慢と責むべき愚かさにたどりつくのである。

もし親が自分たちに委ねられた一人びとりの子供に対して神に答える責任があることを自覚するなら、自分たちの貴重な時間をあえて、自分の家族の義務を除外してまで、飽きあきするほどの一連の流行や娯楽、また仕事にでさえ費やそうとはしないであろう。一人のなごりにされた、あるいは悪習慣にふける魂は、すでに世に存在している罪を大いに増し加えることに加担する。無思慮な親の放縦によって助長されてきた欠点は、彼らの子供のうちに道徳的に損なわれた品性を創造する。そして今度はさらに悪いかたちで、それを彼らの子供たちに遺伝として残すのである。……

ご両親がた、あなたは子供たちを現世だけでなく、来世のためにも訓練しているのだということを覚えていなさい。罪のしみは祝福の住まいに入ることはできない。あなたが罪深い放縦によって、それほど大切に思っている子供をサタンのわなに捕らえてはいないことを確かめなさい。世のこの時代の親にはなんとという恐るべき罪の責任があることであろう!……永遠のために魂を訓練するのは彼らの義務である。しかし、彼らは自分の義務になんと不足していることであろうか! すべてが遅すぎるときになって目覚める日が来たとき、彼らの苦悩はどれほどのものであろうか。そして正義の裁き主が彼らの事情を審査して、彼らに「わたしが天の宮のために訓練するよう、あなたに授けた子らはどこにいるのか」と訪ねられるとき、彼らの報いはどのようなものであろうか。(レビュー・アソッド・ヘラルド 1878年11月1日)

6月30日

輪の向こうを見る

「主よ、われわれに臨んだ事を覚えてください。われわれのはずかしめを顧みてください。……われわれはみなしごとになって父はなく、母はやもめにひとしい。」(哀歌 5:1, 3)

家庭の輪というやわらげ抑制する感化力を奪われた人々のために非常に多くのことができる。多くの人が表す精神は、次の心の言葉を示している、「わたしは弟の番人でしょうか。わたしには自分の家族のほかに重荷も責任ありません。わたしは自分の家の部屋を借りている生徒たちに特別な重荷も関心もありません」。わたしはこれらの人々に自分自身の子供たちのためには重荷をもち、責任を感じているかと尋ねたい。ある親の側では、自分の子供たちを取り囲むすべての感化力がクリスチャン品性の形成のために好ましいものであるようにとの気遣いがありに乏しいことを見て遺憾に思う。しかし、自分自身の愛する子供たちのために魂の重荷をになう人々は、利己的に自分たちの関心を自分自身の家族に限定すべきではない。イエスが万事におけるわたしたちの模範であられる。しかし、このお方は、わたしたちがこのお方に従うと公言する多くの人々が表すのを見るような模範を残してはこれなかった。もしわたしたちがキリストのうちに宿るならば、そしてこのお方の愛がわたしたちのうちに宿るならば、わたしたちはキリストがそのために死なれた人々を愛するのである。……もしキリストが自分自身の利益と都合と楽しみをお考えになったなら、この世はその罪と墮落のうちに滅びるままに取り残されたはずである。

魂の救いに関する奇妙な無関心がクリスチャンだと公言する多くの人々をとらえているようである。彼らの周りの至る所で罪人たちが減んでいても、彼らはこのことに関して特別な重荷をになわない。キリストはこれらの無関心な人々に、「良い忠実な僕よ、よくやった。あなたはわずかなものに忠実であったから、多くのものを管理させよう。主人と一緒に喜んでくれ」と言われるであろうか(マタイ 25:23)。キリストの喜びは、ご自分が魂のために払われた犠牲を通して、彼らが贖われることを見ることにある。(クリスチャン教育の基礎 50,51)

「わたしとわたしのもの」の利己的な愛が、多くの人々を他の人々に対する自分たちの義務を果たすことを妨げてきた。(教会への証 4 巻 423)

家庭の宗教をためすいちばんよい試験は、家庭の感化によって形成される品性の型である。行動はどんな敬虔なことばよりも大きく語る。(アドベンチスト・ホーム 24)

Good Way Series 研究 1-5



黙示録 18 章の御使と 1888 年のメッセージ (V)

V- 歴史はくりかえす

「光を拒絶することによって人々は暗闇の中に残される。そのため彼らは何につまずいたのかを知らない。ユダヤ人が拒絶した招きは、貧しい人々、体の不自由な人々、足の悪い人、目の見えない人々に伝えられた。招待を拒否した人々はだれひとり婚宴の晩さんを味わうことはないという恐ろしい非難が宣告された。彼らはサタンの提案に耳を傾け、言い訳をし、サタンの指導の下で不信という暗闇の中に取り残された。彼らはバロが主イエスとその僕たちに敵対して頑強に抵抗したように、自らをかたくなにした。彼らはキリストの代わりにバラバを選んだ。

この終わりの時代にわれわれに尊いメッセージが与えられた。警告と嘆願が鳴り響いた。『さあ、おいでください。もう準備ができましたから』という招きが与えられている。今日という日のうちに、あなたがたの心をかたくなにしてはいけない。神が大いなる光をもって祝福された男女たちは、魂の敵のへつらいの偽りによって自らを惑わされるがままにするのであろうか。…われわれは目を覚まし、肉の安全というゆりかごの中に寝かしつける世俗の危険な昏睡状態を払いのけないのであろうか。…神の御霊はいつまでも人とあらそうことをしない。あなたがたは招きを拒絶したユダヤ人をまねるのであろうか。」(レビュー・アンド・ヘラルド 1895 年 11 月 5 日)

「彼らの上に輝く光を拒むこと、またメッセージが天からのものかどうか知るために証を調べることを拒否することによって、パリサイ人は聖霊に対して罪を犯した。…

ユダヤ人は自己欺瞞におちいり、判断を惑わして、キリストを拒絶するまで彼らの道を進んでいった。彼らはキリストを十字架につけることが神に仕えるこ

とだと思った。…

今日われわれの時代にもパリサイ人の罪がくりかえされている。多くの者は光から背をむけて、神のみ霊からの警告を聞くのを拒んでいる。われわれは神聖な感化に心を閉ざすことによって、われわれの救い主がこれほどまでに恵み深く与えてくださっている許しを拒んでいる。あわれみと真理を拒むことによって、われわれは反逆の道に備えている。もしこのような道に従うなら、いかなる他の道をも進むことができなくなるまで無力となり続けていくであろう。最も効果的な訴えも何の効果も無いまでに至るのである。神に屈服してそのみ旨を行おうとする望みは、もう感じなくなる。霊的感觉は鈍くなる。暗闇がその結果となり、その暗闇はなんと深い暗闇であろう！

聖霊はすべての人々と闘っている。それは魂に話しかける神の御声である。しかし、その御声に反抗するままになさい。そうするなら、われわれはパリサイ人のように確信を殺し、その証拠がどんなに明白であつてもそれを拒絶するようになるであろう。神はわれわれをあきらめてしまわれ、われわれは自分の思いのままをするように取り残されてしまうであろう」(レビュー・アソド・ハラルド 1897 年 7 月 27 日)。

「サタンは現代の真理を信じることを要求されている人々の経験に、ユダヤ人の歴史が繰り返されるように働いている」(セレクトド・メッセージ 2 巻 111[1896 年])。

「ユダヤ人は天から与えられた救いのメッセージを拒絶したので滅ぼされた。今の世代の人々も神から驚くべき光と特権があたえられたにもかかわらず、光を拒むことによって滅ぼされた人々の道に従うのであろうか」(教会への証 6 巻 1900 年))。

VI- 二つの局面

これまでに示した証の中には二つの要点が強調されました。(1) 1888 年にリバイバルと改革の具体的なメッセージを伝えた黙示録 18 章の天使(もうひとりの天使)についてと、(2) この力強いメッセージが、当時、またその後数年の間に、どのように扱われたかについてです。わたしたちはここから、この天使の働き of 二つの局面について考えていきます。

1. 第一の局面—準備

預言の霊は黙示録 18 章の天使が、1888 年にキリストの義という使命を示すことによってその働きを開始したという疑いの余地のない事実を明らかにしています。

1888 年に第四天使（黙示録 18 章）は、(1) 偉大なる医師（イザヤ 58:1、黙示録 3:14～17）による診断をもたらした使命者を象徴し、(2) それに必要な治療のための処方として、唯一の救済策を与えた（黙示録 3:18）。第四天使は一つの民として、後の雨を受ける準備のためにリバイバルと改革の使命をもって来たのです。ホワイト姉妹は次のように記しました。

「世界総会以来、各集会において、人々は熱心にキリストの義の尊いメッセージを受け入れた。自分が現在もっていない何物かを、すなわち信仰と愛の金、キリストの義の白い衣、霊的識別力の目薬を必要としているのだと認めている人々がいることをわれわれは感謝している」（COR45）。

「神は、この時代の必要に応じるために、『大いに呼ばわって声を惜し』まず、その声を『ラッパのようにあげ、わが民にそのとがを告げ、ヤコブの家にその罪を告げ示』す人々を招集された。彼らの任務は、律法の宣伝ばかりでなく、この時代の真理を説くこと、すなわちキリストわれらの義を宣伝することである」（COR47,48）。

「われわれには今や試練の時が来ている。第三天使の大いなる叫びはすでに、罪を許されるあがない主、キリストの義が示されたことによって、すでに開始しているからである。これこそ全地を栄光で満たす、天使の光の始まりである」（エルクテッド・メッセージ 1 巻 363）。

「この時代にもっとも重大な質問は、『だれが、主の側にいるのか。だれが世に真理のメッセージを宣布するために（黙示録 18 章の）天使と結合するのか。だれがその栄光によって、全地を満たす光を受けるのか』である」（レビュー・アンド・ヘラルド 1889 年 11 月 5 日）。

「神秘的なバビロンは聖徒の血を惜しむことはなかった。それだから、われわれは彼の栄光をもって地を明るくする天使から輝いている光をつかむために全く目を覚ましているであろうか」（エルクテッド・メッセージ 3 巻 426）。

「神の共労者であるすべての者は…現代のメッセージ、すなわちその栄光をもって、すでに地を明るくしているそのメッセージを拒みはしないであろう」（エルクテッド・メッセージ 2 巻 114）。

「もしわれわれが、全地をその栄光で明るくする輝かしい天使の光を受け入れるなら、われわれの心が清められ、自己は虚しくなり、そして心は天にむけられて、後の雨のための準備ができるということを知らせなさい。全地をその栄光をもって明るくする天使の叫びに加わるのにふさわしくするようにしなさい」(ST1892 年 8 月 1 日)。

「預言者は『この後、わたしは、もうひとりの御使が、大いなる権威をもって、天から降りて来るのを見た。地は彼の栄光によって明るくされた』と宣言した。光と栄光と権威は第三天使のメッセージとつながっており、聖霊によってこのメッセージが伝えられるところにはどこでも自覚が生じるのである。この光が神の民に臨むとき、われわれの兄弟のうち、どのようにこれを知るのであろうか。たしかにわれわれはこの描写に見合う光をいまだ見ていない。神はご自分の民のために光を持っておられる。そしてこの光を受け入れる者は皆、なまめろい状態がどれほど罪深いものであるかに気づき、彼らはまことの証人が『だから熱心になって悔い改めなさい。だれでもわたしの声を聞いて戸をあけるなら、わたしはその中に入って彼と食を共にするであろう』(黙示録 3:19,20)と言われる時、その勧告に気を付けるであろう。教会は自らの欠乏と悲惨さを知らないで、自己満足と自己を喜ばせること、誇りと、独立的立場をとっているものとして表された…。

イエスがわれわれに買うように勧めておられる金は火で精錬された金である。白い衣は、ただキリストによってのみ与えられる婚礼の礼服すなわち、キリストの義である。目葉はわれわれの中にとっても欠乏している真の霊的識別力である。なぜならば、霊のことは霊によって識別されなければならないからである。

あたかも、もう光は必要でないかのように話したり行動したりする自己満足と自己過信に陥っている兄弟たちに、われわれは、ラオデキヤへの使命はあなたがたにあてはまると言いたいのである」(レビュー・アソッド・ヘラド 1890 年 4 月 1 日)。

これらの文章によれば、黙示録 18:1 の天使は、後の雨(黙示録 18:2～4)の力の下で大いなる叫びをする前に、まず教会員の中にリバイバルと改革という内的働きが成就されるべきであることを表しています。

主の僕は、このもうひとりの天使の働きは 1888 年始まり(1SM363)、その時、「第三天使のメッセージそのもの」を強めるために最初の光が示されたと述べています。この光は、最初は弱いものでしたが、クライマックスに達するまで、増大していくのです。

「この天使のメッセージは少しも力を失わなかった。なぜならヨハネは全地が彼の栄光によって明るくされるまで、メッセージに力と勢いが増し加わるのを見たからである。神の戒めを守る人々の進路は常に前進、前進である。われわれの持っている真理のメッセージはあらゆる国民、国語、民族に宣べ伝えるべきである。まもなくそれは大いなる声となり、全地は彼の栄光によって明るくされるのである」(教会への証 5 巻 383)。

「第三天使の使命の宣布に協力する〔黙示録 18:1 の〕天使は、その栄光で全地を照らすのである」(各時代の斗争闘下巻 381)。

預言された改革の事業は、後の雨の力の下で、病人の奇跡的ないやしや、他のしるしと不思議を伴って始まるべきであるという思想は、改革運動の開始ではなくクライマックスに言及している教会への証 9 巻 126 の誤った解釈によるものです。わたしたちは次のように警告されています。

「主が彼らに送られるメッセージを拒む多くの者は、疑いの理由と天からの光を拒むための弁解を見つけないとしている。彼らは明白な証拠を見ながらも、ユダヤ人のように『われわれに奇跡をみせてほしい。そうすれば信じよう。もし、この使命者たちが真理を持っているなら、なぜ彼らは病人をいやさないのでしょうか…』と言う。

もし彼らの目が開かれるなら、悪天使たちが彼らの回りに集まって、狂喜し、人々を惑わすための彼らの力を勝ち誇っているのが見えるであろう。サタンがわれわれの前で、この種の証拠を探し求めるすべての人々の信仰を立証するために数多くの奇跡を示し、このような疑う人々の要求に答える日が、今まさにわれわれの目前にきている。真理の光に目を閉じて欺瞞に巻き込まれる、奇跡を求める人々の状態はなんと恐ろしいことであろう！」(伝道 594)。

「わたしたちの信者の間に、改革が行われるべきである。わたしたちは、病人をいやすために、神のみ力が著しい方法によってあらわされることを期待する前に、民はより高い標準に達しなければならない」(医事伝道 15)。

「大改革運動が、神の律法の原則を、父親、母親、そして子供たちに示すことによって始められなければならない」(教会への証 6 巻 119, [1900 年])。

今まで示された証は、黙示録 18 章の天使が来た第一の目的は、最初に第三天使のメッセージを託された人々の手の中で弱くなったそのメッセージに力を与えるためであることを明らかにしています(伝道 230, 教会への証 6 巻 60, 教会

への証 8 卷 118, 119, 初代文集 448, 牧師への証 411)。預言の靈の証によると、第三天使のメッセージはもうひとりの天使によってのみ、力づけられ、大いなる叫びにまで高まるのです。

神がホワイト姉妹を通してあらわされた啓示されたことに誤りはありません。しかし、ある人々は、預言の靈よりも自分たちの方が、もっとよく知っているといった印象を与えようとします。彼らは、黙示録 18:1 のみことばを説明しながら、もうひとりの天使はまだ来ていないと説明し、もしその天使が来るなら、直ちに彼の栄光によって全地を明るくするのだと断言します。このような兄弟たちは、結局、「主はこのように言われる」という御言に反して、主が第三天使のメッセージの発達を可能にするために送られた唯一の助けがなくてもそのメッセージは進展するのだという考えを明白に擁護しているのです。この誤った確信は、もうひとつの矛盾を生じさせます。もしメッセージが、第四天使の助けがなくても、確実に力と勢いを増し加えることができるとしたら、自らクライマックスに達することができるといふことになり、ひいては第四天使による助けは完全に不必要な助けであって、最後に第四天使が来ても、なんの目的も果たさないということになります。わたしたちは時々このような自称信徒たちが、一貫性を保つために、なぜ黙示録 14:9 も同じように説明しないのかと不思議に思います。第三天使が来る時の「大声」が、なぜ 1844 年に聞かれなかったのかについて語ったことは一度もありません。ここに見ることができるように、誤謬はその誤謬自体の結論と矛盾しているのです。

まが幕を引いてくださったかのようにでした。そしてはるかかなたから、「明けの星」が共に歌ったとき、そして「神の子たちは」みな喜びよばわったとき、すばらしい音楽が聞こえてきました。

太陽の周りには青い輪がかかり、だんだん大きくなって行って、雲をちらしてしまいました。それは青い、すてきな青い空でした。下にある湖や海に映えて、それらを同じ空色にしていました。

そこには、月がまだ蒼白くぼんやりしましたが、夕暮れに日が沈むのを待っていました。それに代わって世の光となるためです。

ブロッコリと豆腐のキッシュ

■材料

◎パイ	小麦粉	1カップ
	キャノーラ油	1/4 カップ
	塩	小さじ半分
	豆乳	1/8 カップ
◎具	にんにく	一かけ
	小ネギ (長ネギでも OK)	2 本
	ブロッコリ	1/2 カップ
	しめじ	1/2 カップ
	乾燥ローズマリー	小さじ 1/2
	オリーブオイル	適量
◎ホワイトソース	木綿豆腐 (かため)	1丁 (400g)
	豆乳	1/3 カップ
	片栗粉またはくず粉	大さじ1
	ターメリック (うこん)	小さじ 1/4
	塩	小さじ 1/2
	豆腐チーズ	大さじ 3

■作り方

1. 小麦粉と塩をボールに入れておく。
2. 冷蔵庫で冷やした油と豆乳を同じカップに入れておく。
3. 油と豆乳を一度に1の小麦粉に入れ、手早く、ざっくりと混ぜ、ひとまとめにする。
4. ある程度まとまったら、素手でボールを作る。こねません。
5. 耐熱ガラスの器にパイ生地をのばします。
6. 具の野菜はすべて粗みじん切りにしておく
7. 具の材料は、フライパンに油を熱し、まずニンニクを炒める。ニンニクが薄茶色になったら残りの野菜を入れて炒める。
8. ホワイトクリームの全ての材料をフードプロセッサーまたはミキサーでよく混ぜておく。
9. オーブンを 190℃に予熱しておく
10. ホワイトクリームの混ぜたものをゴムべらで大きめのボウルに入れる。
11. 具の炒めた野菜をボウルに入れて、ゴムべらでよく混ぜておく。
12. 7の混ぜたものを1のパイ生地の上に流しいれ、表面をヘラできれいにしておく。
13. 180℃のオーブンで 25 分～ 35 分ほど、表面が濃い黄色になる位まで、様子を見ながら焼く。フィリングも、冷えるとしっかりします。

教会プログラム (毎週土曜日)

安息日学校 : 9:30-10:45 (公開放送)

礼拝説教 : 11:00-12:00 (公開放送)

午後の聖書研究 : 14:00-15:00

【公開放送】 <http://www.4angels.jp>



聖書通信講座

※無料聖書通信講座を用意しております。

□聖所真理



お申込先 : 〒 350-1391 埼玉県狭山郵便局私書箱 13 号「福音の宝」係
是非お申し込み下さい。

書籍

【永遠の真理】聖書と証の書のみに基づいた毎朝のよみもの。



【安息日聖書教科】は、他のコメントを一切加えず、完全に聖書と証の書のみに基づいた毎日の研究プログラムです。



聖書物語

パート1 第9話 太陽の最初の光線(1)

三日という短い間に、暗く水におおわれていた惑星が、美しい楽園へと変わりました。

何か力強い目に見えない力によって、陸地が大洋の深さから押し上げられました。ちょうど同じようにすばらしく、またひとしく突然に、新しい大陸と島々が、ありとあらゆる形や大きさやいろどりの草や花や灌木や木でおおわれました。

今、第四日目がおとずれました。夕と夜は過ぎました。夜が明けはじまりました。「大空」、つまり大気の上にある明るい雲から、やさしい光が神の昨日のみわざをかつてなかったほど美しく見せていました。

しかし、ごらんなさい!何かがおこっています。あそこです。雲の中です。雲が晴れています。ごらんなさい!その向こうに明るい光があります。火の玉です。それは何でしょう。それは太陽です!すでに最初のあたたかい光線が、うるわしい丘の上をはしり、それをますます豪華なおとぎの国のようになっています。花々はしきりに輝く軌道へ向きを変え、シダはその葉を、そして木々はその枝を、喜ばしい歓迎のうちに掲げています。

はじめて新しく造られた世界のあらゆる美しいものは、天の住民たちの前でその全景があらわされました。彼らが神様のなさったことを見て、み手のわざをこのお方と一緒に喜ぶことができるように、あたかも神さ

